

事業評価シート

事務事業名	学校生活支援員配置事業費	担当課名	教育総務課
総合計画の 主要施策名	「確かな学力」を身に付けた子どもの育成	事業コード	4221

事業の目的	発達障害や語学力不足など教育上特別な支援を要する児童生徒を指導する教員を補助するために職員を配置し、当該児童生徒の教育課程を支援する。			
事業の内容	学校生活支援を要する児童生徒への支援員配置。			
事業の対象	町内小中学校児童生徒			
事業費	年度・区分	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度予算
	金額	24,298 千円	27,020 千円	27,608 千円

事業の効果等	児童生徒の安全確保・基本的生活習慣の確立・介助・語学指導等により、円滑な学習活動が行われ、また、障害に対する理解促進が図られた。
実績・成果等 (数値)	生活支援員の配置……19人(小学校12人、中学校7人)

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	学校生活支援を配置することにより、特別に支援を要する児童生徒への適切な指導や支援を行うとともに、教職員の負担軽減や適正な学校運営に寄与することができた。今後さらに増加すると思われる問題を抱える児童生徒について、母子障害福祉担当・教育委員会・医療機関等が連携し、支援が途切れることのないよう連携強化していきたい。また、職員研修等を行い特別支援教育の理解を深めるとともに、支援員の指導力向上を図りたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------